

上京
した
彼女

都会
の男
の
セフレ
に
堕
ちる
――





もう
行っちゃうんだな

進学するために
東京行くだけで

永遠の別れなんか
じゃないんだから

わかってるよ
そんなことは……

……なんか悠里は全然
なんとも思っていないみたいだ

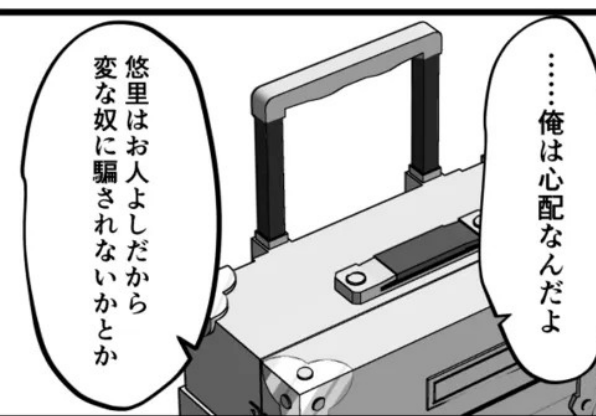
もう伸二ったら……
そんなに
悲しまないでよっ



今は離れてたって
毎日いくらでも通話できるんだから
そんなに変わらないって

……俺は心配なんだよ

悠里はお人よしだから
変な奴に騙されないかとか



もうっお父さん
じゃないんだから……
心配しすぎだって

あっそろそろ出発みたい
着いたら電話するね
それじゃバイバイっ





目ぼしいのいなかったら
すぐ帰るからな



今日は
大丈夫なんだろうな

前のサークルは
ブスばかりだったぞ

知りませんよそんなの。
俺だって
幽霊部員なんですから



はっ、いいのが
いるじゃねえか

すごく楽しみに
していたんですっ



……ん？



そうなんです
東京初めてで



へえ、
東京初めてなんだー

どう？
東京は？

何もかもすごくて……
このテニスサークルも
こんなに人数多くて

……地元の部活では
4人だけだったんです

へー
そうなんだ

あっそうだ！
これ飲みなよ！

へ？
あ、あの私まだお酒は……

大丈夫だって

誰も何も
言わないから

……でも

いいじゃん。
飲みなよ

うう……

せっかく俺が頼んだのに
飲めないわけ？

……じゃあ
少しだけ……

ああ大丈夫だよ

気分悪いって
いうからよ

うっ

その辺に置いとくわけにも
いかないから
とりあえず俺の家まで
連れてきただけ

それじゃ切るからな

心配すんなって……
今まで問題が
起きたことはないだろ？

……さてと
続けようか

はあ

はあ



顔は地味で
芋くせえけど

バカでけえ乳に
下品な乳輪してんなあ

やるだけなら
セフレにするなら
満点か？

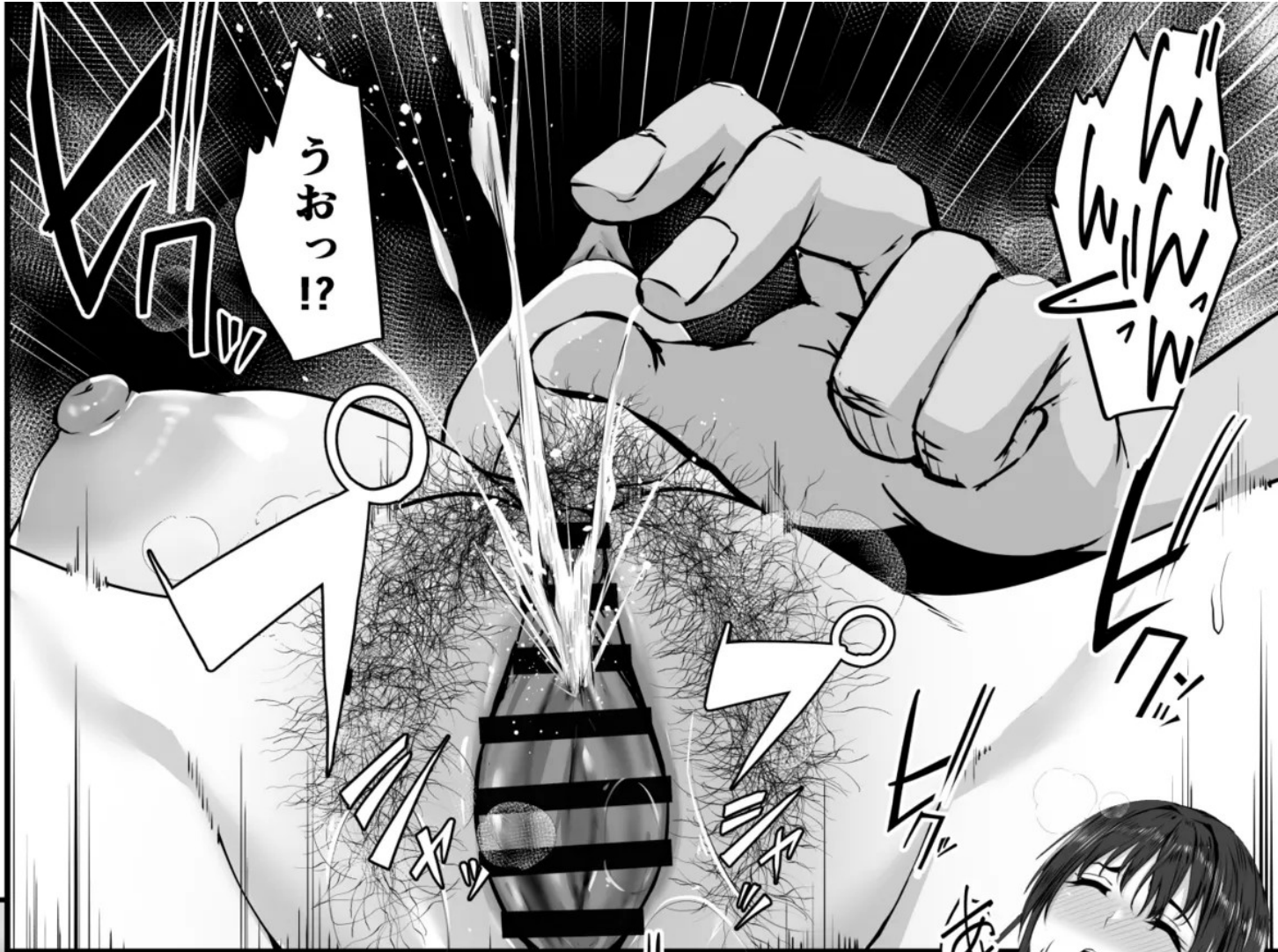


おいおい
下の毛の処理
甘いんじゃねえか？

もさもさ
じゃねえかオイ

ああ？なんだア？
少し触っただけなのに
もうイきそうなのか？





うおっ!?

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

あぁ

はぁ

汚した分きっちり
やらせてもらうからな

オイオイ
人んちのベッドで
壮大到潮吹きやがって

あ？スマホ
鳴ってんぞー

ちっ
ロックが……

おい
目開けろ

あー？
彼氏持ちかよ

田舎もんでも
やることやってんな

そろそろ歓迎会も終わった頃か
な???

22:30

ん？まだやってる感じ？

22:59

終わったら連絡ちょうだい
心配だからさ

23:15

不在着信

23:30

大丈夫???

23:31

はっ、これから彼女が
セックスするってのに

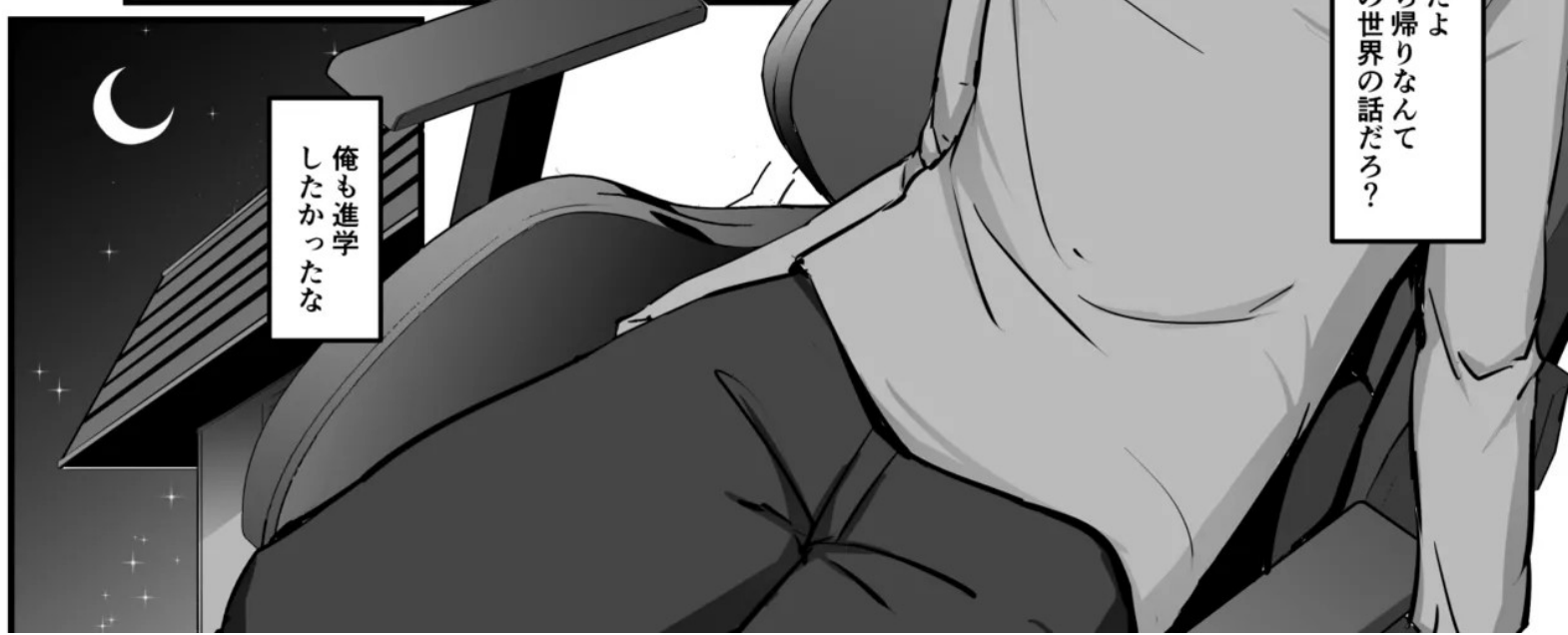
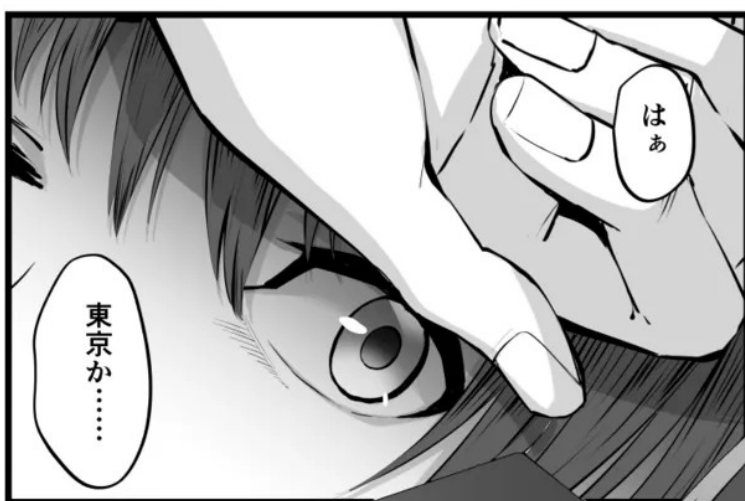
間抜けな男だな

俺が代わりに
返信しておくぞ

これで良し

心置きなく
やりまくれるぞ

ちやーんと彼氏くんには
連絡しておいたから





いつもこんなに
イってんのか？

ははっ
いつもと違うのか！

ちかっ

オラ
下出せよ

はっ

ぬちゅ

ん

ぬちゅ

ん

ん

ぎゅ

ん

ん

ん

ん





だらしねえ顔
しやがって

いくぞ!

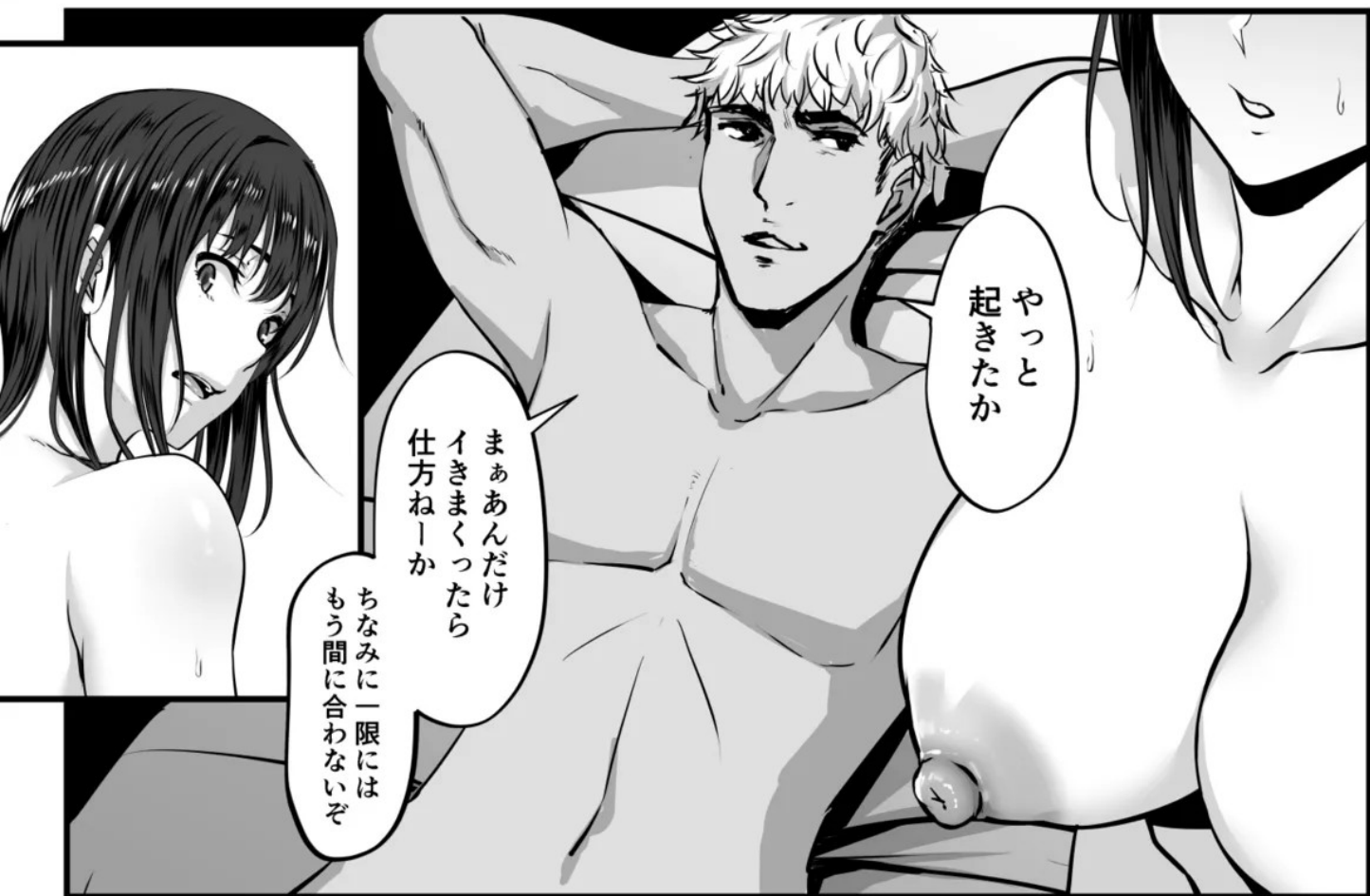
顔に出して
やるからなア!





あれ……私……
確か歓迎会に行って
それから……

うう……
頭痛い



やっと
起きたか

まああんだけ
イきまくったら
仕方ねーか

ちなみに一限には
もう間に合わないぞ



——っ!
!?



……うん
楽しかった

楽しかったかな……

ん？
何かあったの？

な、何もないよ

ただの普通の
歓迎会だっただけ

……

ごめん！
ちよっと切るねっ

10 今
準人
歓迎会の夜のこと覚えてるか？

動画？……きつと
見ないほうがいい

4:36

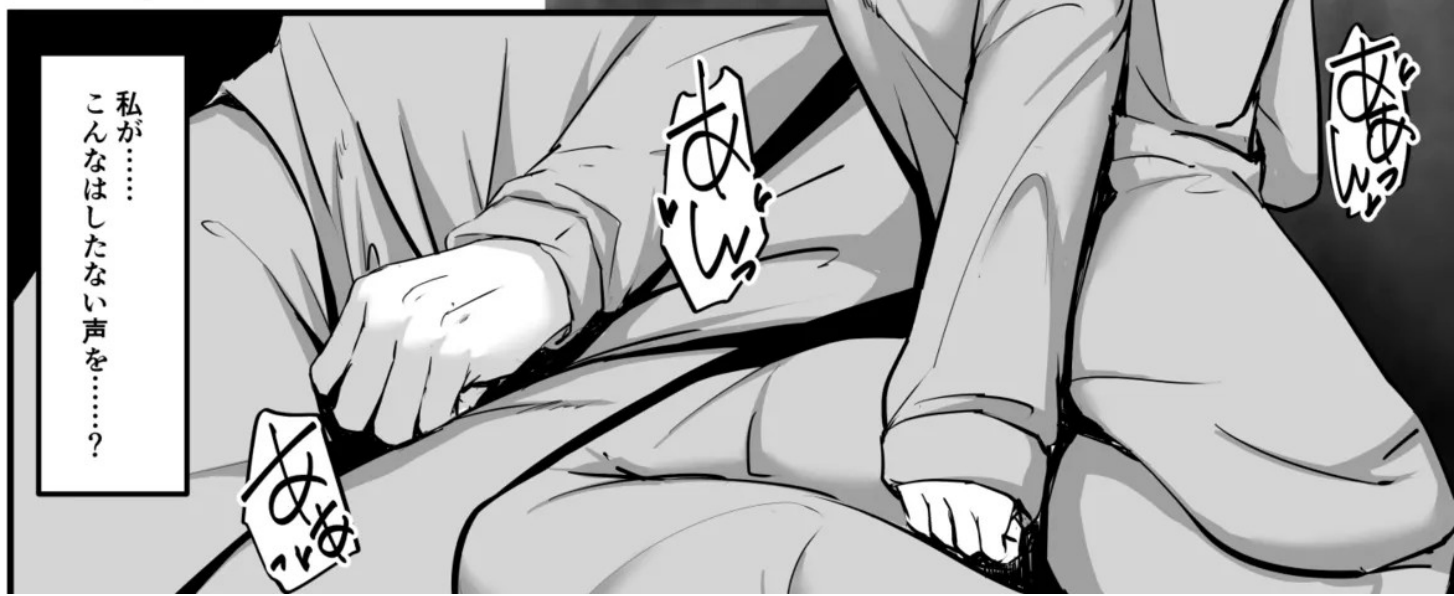
これその時の動画な

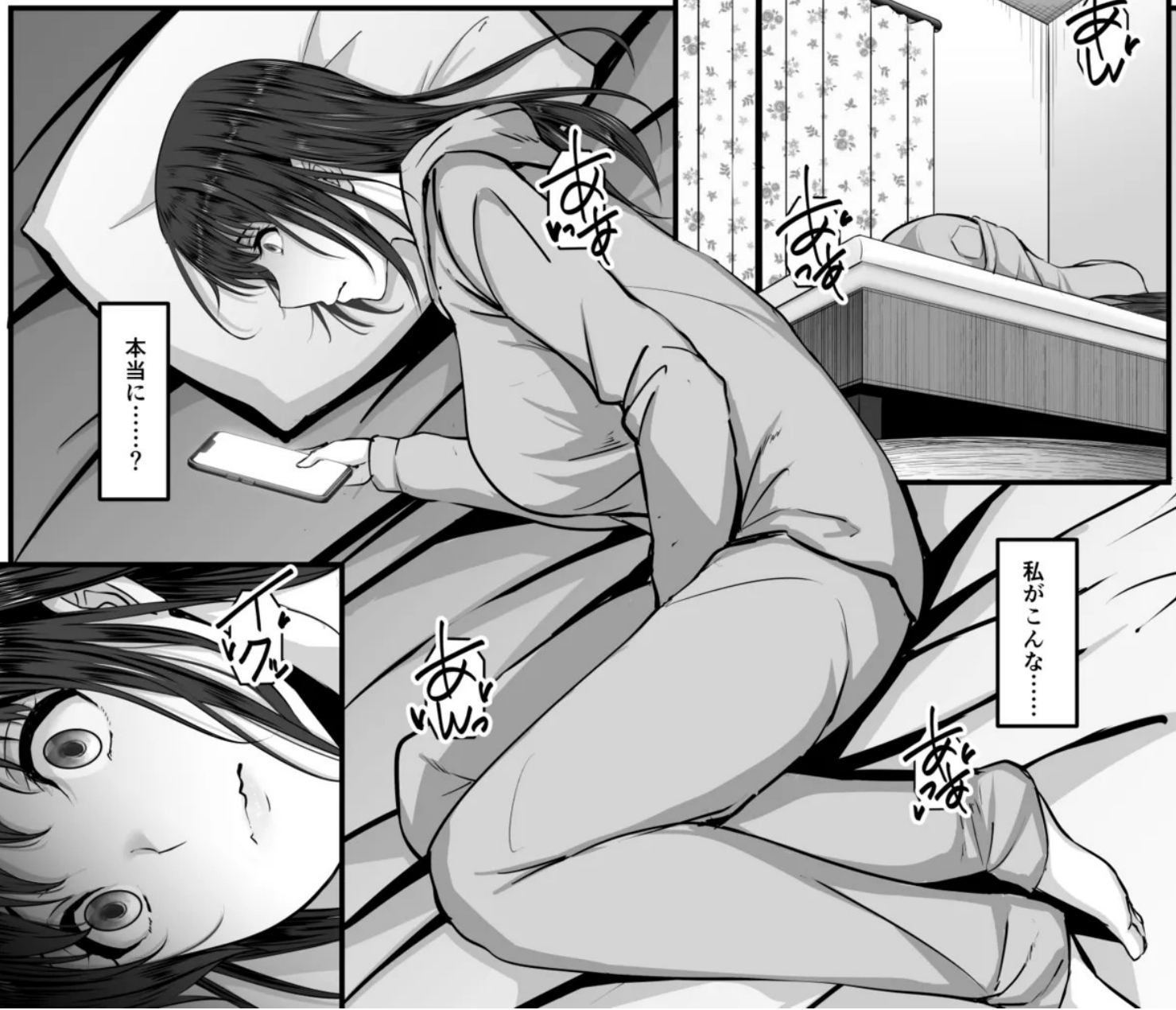
どうして
私の連絡先を……

あの時に
スマホをいじられた？

身に覚えのない
あのメッセージも
やっぱりあの人が……

……でも





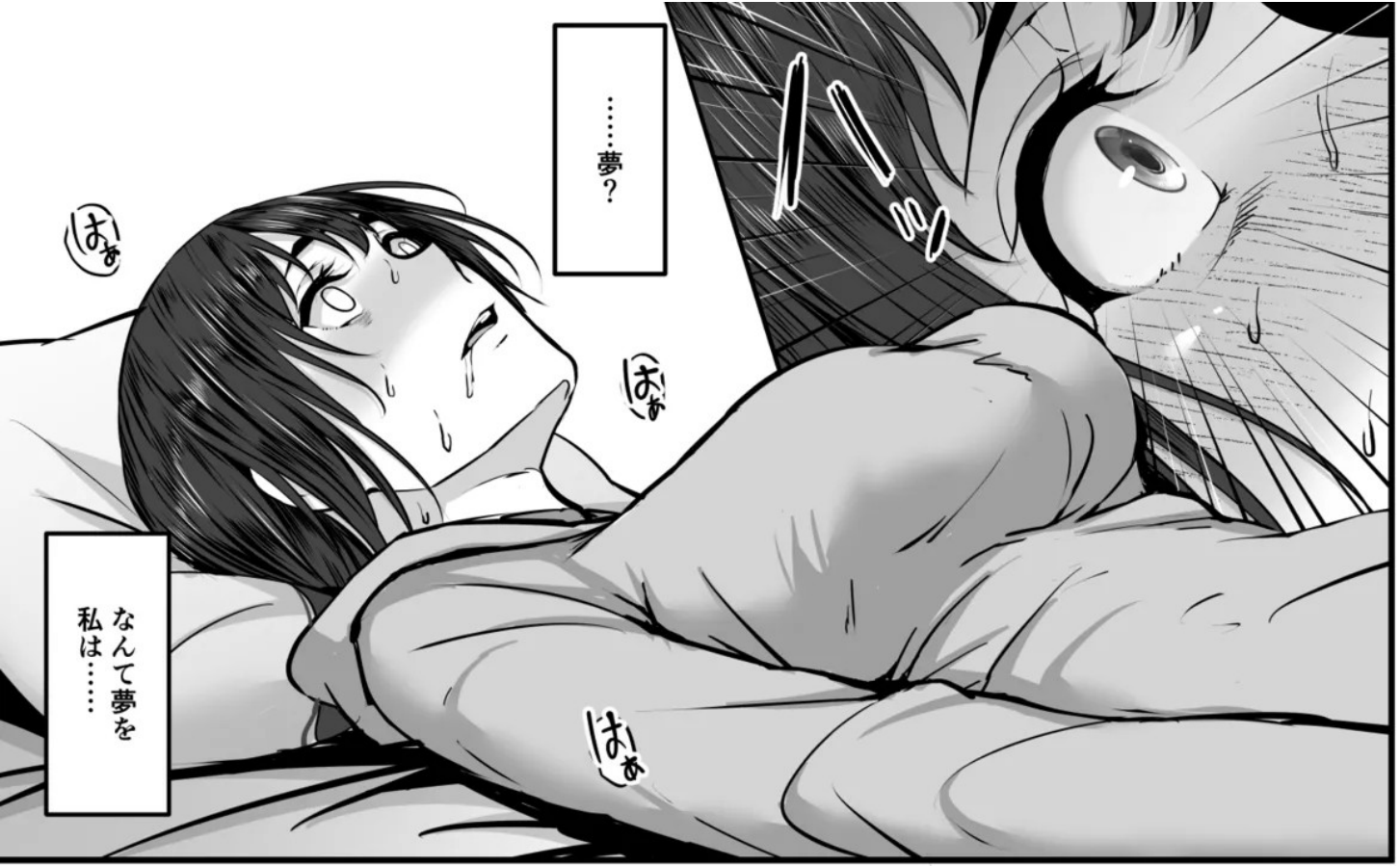


しっかりしゃぶれよ

俺が満足するまで
終わらせねえからな

ハハッ
いい顔してんなア

よし
出してやるから
全部飲めよ

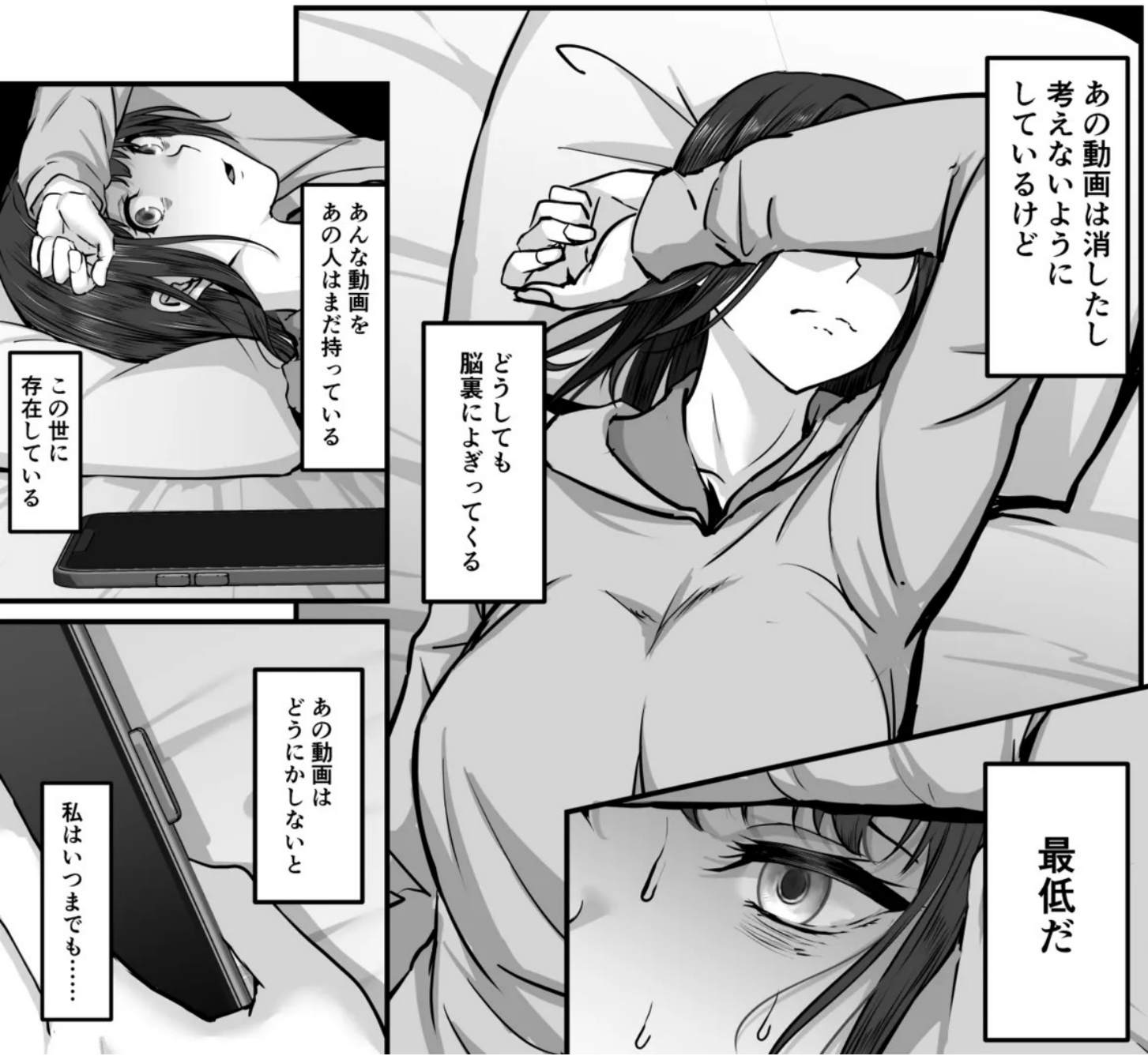


……夢？

はぁ

はぁ

なんて夢を
私は……



あの動画は消したし
考えないように
しているけど

どうしても
脳裏によぎってくる

あんな動画を
あの人はまだ持っている

この世に
存在している

最低だ

あの動画は
どうにかしないと

私はいつまでも……

突然連絡してきたと
思ったら

家まで押しかけてきて
何か用？

あの動画を
消して欲しいなら
家に来いと言ったのは

あなたです

ここで私は……

あ？
そんなこと言ったか？

とぼけないでください！

怒るなよ

怒ってないですし、
怒るつもりもないです

動画を消してくれれば
すぐ帰ります
だから――

嫌だね

今
け、消してくれば

大事には
……しません

はあ？
大事？

レイプされたとしても
警察に言うのか？

まあ別にいいけど
それなら俺はこの動画を

色んな奴に
見せる必要があるなあ

警察のおっさんたちにも
大学の友人にも

!?

合意の上だったって
証明しないといけないからな



動画を消す条件は

俺が満足するだけで
お前は満足しなくても
いいんだぜ

さっきから
乳首勃起させて

声が漏れてる
気がするけどなァ

好きでもない人に
いじられてるのに

どうして
こんなにつ

満足なんてっ
……してませんっ

これはあ……っ
気持ちよくなんてっ

カリ

先をカリカリ
されるのも

カリ

どうした？
体が震えてるぞ？

ああっ
それっだめっ

カリ

シコシコ
しごかれるのも

フッ

ニッ

乳首だけで
なんて

好き
なんだろ

いく……
イっちゃう

乳首だけで
まさかいくのか？

ああっダメっ
なんでこんなに——っ

おしっ
乳首はとりあえず
このくらいでいいか

次はマンコを
可愛がってやるよ

じっくりと
入念にな

いいやあ……

ああっ
そんなんっ

簡単には
イかせねえよ？

動画消す条件に
お前が満足することは
入っていないからなア

一時間後

私は未だに
いくことを
許されていなかった

おっと
あぶない

彼は私の身体を
知り尽くしているかのように

絶妙なタイミングで
執拗に寸止めを繰り返した

おっ？
どうしたどうした？

身体は自分でも
見たこともないほど
淫らに発情させられ

ハハッ
乳首もクリトリスも
バッキバキに勃起してらァ

心は彼に絶頂を
懇願することを
耐えるので精一杯だった



そろそろ
次いくか

こ、これが——っ

見てないで
しゃぶれよ

私を
無茶苦茶にした

——ちんぽ

何度も言うが
お前を満足させるために
やってんじゃねえんだよ



これを入れたら
私はまた

すごく大きくて硬くて
……たくましい

あの時みたいに――

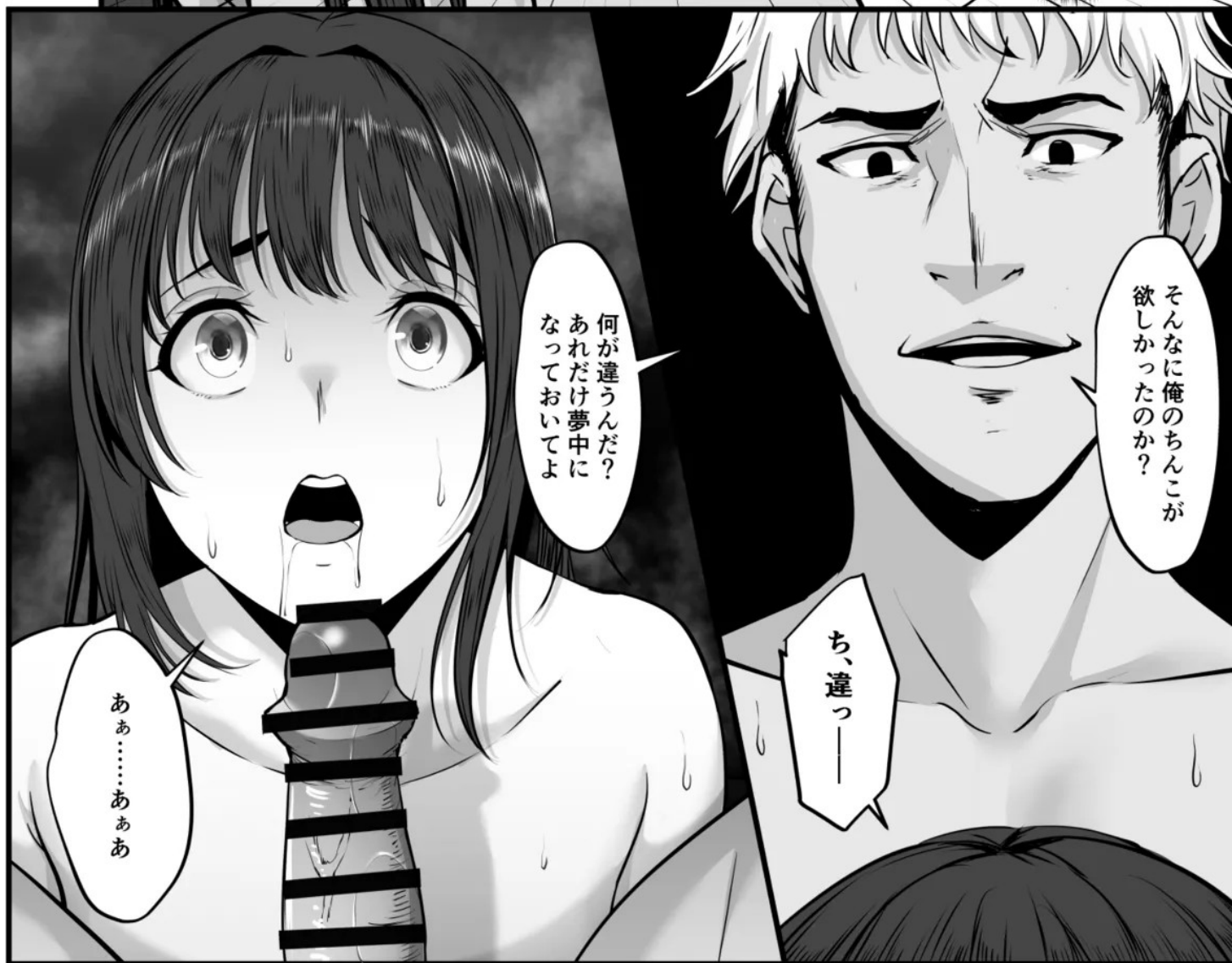
このちんぽで
私の中の
煮えたぎる快楽を

解放し――

ああ……入りたい



ずいぶんと
……熱心だな



そんなに俺のちんこが
欲しかったのか？

ち、違っ――

何が違うんだ？
あれだけ夢中にな
っておいてよ

ああ……あああ



認めろよ
あんな動画を見せられ

我慢ができずに
ハメられにきたんだろ

違いますっ

違うねえよ

その気がねえ奴が
セックスさせるなんて
ふざけた条件を

飲むわけないだろ！
バカか！



ほんとに違っ……

そんなに
俺のチンコがいいなら
セフレにしてやるよ

何を言ってるんですか!?
せ、セフレになんて
私は——っ

よし、俺のチンコが
お前の子宮に届いたら
契約成立な

セフレになれば
動画とかもう
どうでもいいだろ



おー? いいのかあ?
もうすぐ届くぞ

拒まなければ
ダメなのに——っ



ほら
断るなら今だぞ



いくぞー

ま、待ってっ



だ、ダメ——
入れただけなのに——

イっちゃう



先っぼだけで
こんなに

なに……これっ



あんなに焦らされたのに

今入れられたら



なんだ？
ハメ潮吹くほど
うれしいのか！

はいセフレ確定



お前が
好きなところは

一番奥の
ここだよなあ！

しょうがねえ
今日は特別に
お前の好きなところだけ
徹底的にイジメてやるよ



おい
顔隠すんじゃないよ



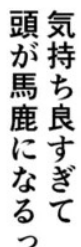
ちゃんと見せろよ

彼氏以外のチンコで
だらしくイク
淫乱面をよ



今日からお前は

俺の
穴だからなア



オラッ
まんこ緩んできてんぞ！
もっと締めろ！

締めろって
言ってるんだろ！

もう――

戻れなくなる――っ

こんなっ
こんなの知ってしまったら――

めんどくせーから
このまま中で出すからなア

嫌マ

拒否権は
ねえんだよ!

俺がイったら
お前も同時にイけよ!
いくぞオ!

ああっ……だめっ
くる……すごい
きちゃう——っ!





よし
とりあえず一発目

さて今日は
何発だそうかなア



nepuka



-奥付-

『上京した彼女、都会の男のセフレに堕ちる——』

サークル名(著者)
ネプカ

連絡先
nepuka.nepuka@gmail.com

発行日
2025年11月16日

印刷会社
大陽出版株式会社

無断転載・アップロード禁止